

As of 2019年5月1日

本社住所	東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル 5F					
代表者	諸星 俊郎	設立	2008年1月	資本金	160,200	千円
経営理念	治療薬のほとんどない分野において新薬を創出し、人々の健康と福祉に貢献する。また、新しい機能性食品原料を広く世の中に広めて、病気になる前の健康維持に貢献する。					
業種分野	医薬品の研究開発、化粧品原料・食品原料の販売					
連絡先	03-5203-0715	HPアドレス等	http://sanshopharma.co.jp			

事業内容のご紹介

当社は、新薬(環状ホスファチジン酸)創成を目指すベンチャー企業であり、患者様に貢献できる薬の開発を目指す事業としては、以下の3つを進めている。

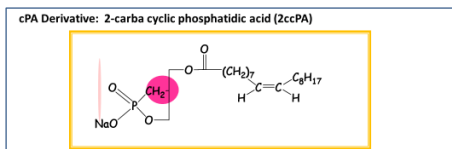
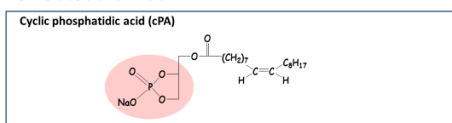
- 1) 医薬品開発において整形外科領域の変形性膝関節症、難病の一つである多発性硬化症治療薬の開発
- 2) 美肌効果などを示す機能性食品原料の販売、将来には疼痛軽減などの食品の開発
- 3) 新規化粧品原料でアンチエイジング効果のある原料の販売

PRポイント

現在医薬品開発においては、バイオプロダクトと呼ばれる生物製剤が多く開発され、応用されている。SANSHOは自然界の微生物由来天然物化合物の探索に重点を置いて、天然由来の新規化合物を基に化学合成により新薬の創成を目指している。その中から発見された、cPA(環状ホスファチジン酸)の構造を一部変換し、2ccPA(2-カルバ環状ホスファチジン酸)を創成した。本剤は、生体内のATX(オートタキシン)酵素を強く阻害し、LPA(リゾホスファチジン酸)の生成を強く抑制する画期的な新規化合物である。現在、米国FDAのIND(新薬臨床試験開始許可)を取得し、台湾において変形性膝関節症の患者を使った臨床第1相試験を実施中である。更には多発性硬化症の適応症にも効果を示す可能性を持つことから、第二開発適応症を目指し、基礎研究を進めている。

製品・サービスイメージ

Cyclic Phosphatidic Acid (cPA) Derivative for Osteoarthritis SANSHO



代表者メッセージ

自然界の微生物より単離精製されたcPA(環状ホスファチジン酸)は、天然体として化粧品原料と食品原料に応用されて弊社からすでに販売されている。合成体は医薬品開発物質として上市を目指す。